

6年1組		指導者	〇〇〇〇	教科等	国語科
単元	単元名等	物語を読んで、登場人物の生き方から考えたことを語り合おう			
	単元の目標	知識・技能	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができるようにする。 【知・技（1）オ】		
		思考・判断・表現	◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。 【思・判・表（Cオ）】 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。 【思・判・表（Cカ）】		
		主体的に学習に取り組む態度	○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとするようにする。 【学びに向かう力・人間性等】		
	単元の学習展開				
	導入	□単元の学習計画を立て、学習の見通しをもつ			
	展開	□目的に応じて、本文を読み返し、登場人物の生き方について考えたこと等を叙述を根拠にまとめ、交流する			
終末	□単元全体の学習を振り返り、文章を読んで自分の考えがまとまったり広がったりする過程を確かめる □今後もっと読んでみたい本当について交流する				

本時 (6/全8時間)	ねらい	太一がもりを打たなかった理由について、父や与吉じいさの生き方と関連付けて考えたり、友だちの考えと比べたりして、叙述を根拠に自分のことばでまとめることができるようにする。 <u>（下線部・・・評価規準【◆思考・判断・表現 ワークシートの記述】）</u>	
	学習過程	「めあて」の確認 「太一がもりを打たなかった理由について自分の考えをまとめよう」	
		本時で学んだことごと「振り返り」 「太一の生き方は父親やじいさの影響を受けていることがわかった。ものがたりでは、登場人物の関係性を理解することが読みを深めることにつながると思った」	
	努力を要する状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】 叙述から離れて想像している 漢字が読めない	【必要な支援・手立て】 線を引いた表現に着目させる 「学習の手引き（漢字の読み）」を示す